

中四国交流プログラム 参加報告

2025 年 5 月 25 日

山口県 フットサル2級審判員 大野晃史

○大会名：第41回 全国選抜フットサル大会 四国地区予選

○期 日：2025年5月25日（日）

○会 場：鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール（徳島県鳴門市）

【参加者】

・インストラクター

松尾 久美子氏（徳島）、森河 健一氏（愛媛）、柿本 大吾氏（広島）

・審判員

近藤 優氏（徳島）、林 恭平氏（徳島）、伊藤 彰彦氏（徳島）、平島 一起氏（徳島）

網矢 守氏（愛媛）、藤澤 誠氏（愛媛）、柿本 大吾氏（広島）、大野 晃史（山口）

・中国サッカー協会審判委員会 委員長 前田 拓哉氏（広島）



《大会1試合目》

準決勝第2試合・・・徳島県選抜 vs 愛媛県選抜（12：00キックオフ）

2：2（2：1）（0：1） PK（5：4）

主審：大野 晃史 第2審判：林 恭平氏

第3審判：網矢 守氏 タイムキーパー：藤澤 誠氏

インストラクター：松尾 松尾久美子氏

【良い点、ストロングポイント】

- ・冷静な判断がもたらす判定の安定感
- ・確固たる強さ（許さないという強さや信念、懲戒罰や注意への対応力）
- ・動きとポジショニングは基本に忠実に取り組んでいる

【改善点、ウィークポイント】

- ・ 予防のアクションや警告の示し方（示すまでの時間や示す動作）
- ・ 他の3人からの助言のもらいかた（インカムの有効利用）
- ・ ポジショニングをさらによくするためには、無意識な動きへ進化させたい。
- ・ 「警告をする」と「警告を出す」ことの違いを理解する。



《大会2試合目》

決勝戦・・・高知県選抜 vs 徳島県選抜（16：15キックオフ）

3：7（2：2）（1：5）

主審：網矢 守氏 第2審判：藤澤 誠氏

第3審判：大野 晃史 タイムキーパー：林 恭平氏

インストラクター：松尾 久美子氏

【良い点、ストロングポイント】

- ・ キックオフ前に先発選手の背番号確認を行ったことで、メンバー表と異なる競技者が出場していることに気づき、4人ですぐに対応することができた。キックオフ前であるが「この審判団に決勝戦を任せられる」という印象を受けた。

【改善点、ウィークポイント】

- ・ より厳しいゲームの第3審判の経験を数多く積むことが、成長の一助となる。そのような試合を通して、気づきを増やすためのトレーニングをしてほしい。

・

《大会を通して》

・ 今年の中四国交流プログラムとして、第41回 全国選抜フットサル大会 四国地区予選に参加させていただきました。開講式の自己紹介で、参加者一人ひとりが「今日のテーマ」を発表しました。私は「基礎基本に立ち返ったレフェリング」をテーマに今大会2試合に臨むことにしました。そのテーマを意識した中で、「動きとポジショニングは基本に忠実に取り組んでいる」と評価をいただき、うれしく思います。

そして、「凡事徹底」の大切さを改めて学ぶことができました。

○簡単な（わかりやすい）判定やシンプルなタッチジャッジこそ、きちんと判定をする

○持っている情報はしっかりと伝える

○基礎基本を 分かったうえでやらないのか or 分かっていなくてできないのか は全く違う

当たり前のことを当たり前に取り組むことができるように、これからも学び続けていきたいと思います。

《交流プログラムに参加して》 柿本大吾

四国地域との交流プログラムに参加しました。今回で5回目となります。

大野さんは他地域で初めて審判を務めましたが、コミュニケーションをうまく取りながら試合に臨んでいました。無線システムを使った試合や、初めて組む審判員とのやりとりなど、中国地域では得られない経験を積むことが出来たと思います。今後も交流プログラムを続けたいと思います。